



東北方面

橋梁幅員擴張運動

宮城縣桃生郡飯野川町では北上川改修工事の爲には少からざる犠牲を拂つてゐたが、ことに本吉郡柳津から同町まで掘鑿した新川によつて、從來の交通状態は根底から破壊されることになつたが、内務省にては同町警察署裏中から一直線(約三百間)の對岸大谷地村川の上まで可動堰を建造し主として新川の流水を停水沿岸町村耕地の灌漑用

水として供給し一面その上部は橋梁として陸路交通の便を拓らくといふ、すこぶる理思的の計劃で、同地方民は只一途に可動堰の完成をまちあぐんでゐる。然るに最近可動堰上部橋梁の幅員僅に二間半であることが判明したので、斯くては延長三百間の橋上で自動車荷馬車が交換することが出来ぬ結果となり甚だ不便であるといふので過般來二間半の幅員を三間幅に擴張されたいと躍起運動開始したが、果して當局が地方民の窮狀を容れて要求通り擴張するか否やは未だ明瞭でないので、同町有志は繼續的に猛烈な運動をなすべく目下協議中である。

松島の富山に

自動車道路開鑿

富山の山道修理堂宇の改修については、聖蹟保存會が主となつて計劃中だが、開く所に依ると、同山の東側縦花柏の如き蔭樹地帯に、自動車道路を電光形に開鑿し、石巻街道筋から登るを裏がけ宮電富山停留場方面から攀るは表がけとして、自在に山嶺を逍遙せしめる方針なれば、これが完成の曉には、同山も往古の賑はひを咲きかへらしむることだらう。

交通機關に

恵まれぬ黒川郡

宮城縣黒川郡は縣下でも交通機關の設備に恵まれぬ部落で、仙臺通町を基點とする加美郡中新田行き(の二十七哩)の軌道が辛じて同郡西端富谷吉岡大衝の一部を掠むるのみで、中央部落から東部落に至つては鐵

道線路に近づくには少くも一里から三、四里の距離にあり、従つて林産物農産物の輸出は勿論日用重要品の購入に要する運賃は荷馬車に委ね、世界中で一番に安い運輸賃金を船舶に求めるなら汽車自動車よりも尙十數倍高價なる賃金を支拂はねばならぬ不遇をどうすることも出来かねてゐたが、内ヶ崎内務参與官のお骨折から往還だけは縣内多數のものを作ることにになり全部幹支線を縣道に編入この上は永久に汽車を通することが不可能な黒川郡をして、自動車によつて交通を助け物資の運搬を救はねばならぬと、吉岡松島間の縦貫路は更なり仙臺三本木間の國道、それに大衡中新田の縣道北目大崎から別府鹽釜間の縣道、粕川村から大松澤に出て松山に通ずる縣道、落合橋から鹿島臺村に至る縣道と四通八達の往還を開鑿縣道に引き直しバスは勿論タクシー運轉に貨物自動車は戸口から戸口へ走らせて農林産物の價額の調和をとり、交通上の安

全時間の尊重をもこの山深き村落に徹底せしめることになつた。かの多年叫ばれた松吉軌道問題の煙に消へ入るとも黒川郡は文化へ更生の機軸を興へられた感がしてゐる

大谷地村橋梁

改善を叫ぶ

宮城縣桃生郡大谷地村宇川の土縣道橋梁架設は、先年北上治水事業として施行し、同村から飯野川町に至も川の上東の端水の悪水路に完全な橋梁架設を見たが、遺憾なことに曲折多いため車馬の通行上少からず、不便を繰返してゐるのでこの場合何とか改善したいものだとの希望が熱心に唱へらるゝやうになつて來たが、同村有志はこの村民の苦衷を容れ内務省當局に改造方の陳情をするや否やは目下不明であるが、何れにしても早晚改造せねばならぬことが明かだからこの際運動する方が後日の悔ひを取除く上に効力あるであらうといはれてゐる。

東 海 方 面

豊橋管内の道路工事

豊橋の第二道路改良事務所管の明年度までに實施する道路橋梁工事は約二十件で、既に竣工したのは一ヶ所、目下十一ヶ所が工事中となつて居り、残り八ヶ所は大工事であつて保留され居る。

△田原白須賀線、滙美郡高豊村二川町、延長一、一六一間、幅員三間、工費二萬二千二百二十五圓、着手四年三月二十日、竣功同年九月十五日

△田日本郷線、北設樂郡御殿村、延長九六四間、幅員十五尺、工費一萬八千三百三十圓、着手四年六月二十日、竣功同年十二月十六日

△足助新城線、南設樂郡風來寺村、延長一三六〇間、幅員十五尺、工費六萬三千九百五十圓、着手四年七月十六日、竣功五年八

月二十四日

△作手岡崎線、額田郡宮崎村、工費七萬八千圓

△和地福江線、渥美郡福江町伴良湖岬村、

延長二、六二一間、幅員十八尺、工費五萬一千百五十圓、着手四年七月九日、竣功五年五月九日

△本郷佐久間線、北設樂郡園村、延長五二八間、幅員十五尺、工費二萬九千七百五十圓、着手四年七月三日、竣功五年一月五日

△田原田口線、北設樂郡段嶺村、延長一、一五七間、幅員十五尺、工費四萬一千七百圓、着手四年七月三日、竣功同年十二月二十九日

△田口本郷線、北樂郡御殿村根草村、延長一、〇五九間、幅員十五尺、工費五萬二千九百圓、着手四年七月十日、竣功五年五月十日
△田口氣賀線、牛淵橋、延長三六五尺、幅員十八尺、工費六萬六千圓、着手三年十二月十日、竣功四年十月五日

△名古屋田口線、岩狹橋、延長二五一尺、幅員十八尺、工費四萬一千七百圓、着手四年三月一日、竣功同年十二月二十五日

△足助新城線、南設樂郡風來寺村地内延長五一三尺、幅員十五尺、工費四萬一千四百圓、着手四年七月二十一日、竣功五年五月十五日

日
因に、目下工事中で保留された工事の多くは緊縮政策で起債が許可されぬ關係上、豫定の三割減の事業を施す見込である、而して既に竣功せる御油三谷線の如きは工費五千四百三十七圓で、敷地は地元が負擔したので、補償費である家屋移轉等に工費の五倍の約三萬圓からを要して居るので、全管の工事進捗するに於ては、其の補償費は莫大なものである。此の際大工事は緊縮の影響で繰延べとなるものもあるべく、主として山間部を改修して、平坦部との連絡に資する方針で進工してゐる。

岡崎市道路網計劃完成

岡崎市都市計劃の道路網計劃は昭和元年から着手されたが、三年有餘の歳月を経て漸く完成した設計圖は近日中に縣に提出せられることとなり、縣では直に内務省に廻付する筈である、設計は交通、商業、住居の三點を中心に路線は曲線を主體として三角構成のものである。

明大寺瀧線改修工事

岡崎市明大寺瀧線は地元から一萬五千圓の起債をなし、本年度に於て改修擴張工事を爲すべく五萬圓の豫算が計上してあるが、緊縮内閣の出現で地元から借入の起債認可絶望となつたため、下水道起債が不許可の模様で他事業を中止しなくてはならぬ影響をうけて、到底本年度實施は不可能となつたが、かくては沿線民の望を裏切ることを恐しく、同地方發展のためにも遺憾千

高である。政友派市會議員は去月十二日日本多市長を市長室に訪ひ、出來得る限り是非本年度に於て豫定計畫通り工事を進捗されたいと陳情するところあつた。

岡崎の都計案

本年度中に完了

岡崎市の都市計劃道路網に對する三十分の一の測量は終り、愈々最後の決定をなすため實地測量に對する六百分の一の地圖を製作中だが區域全體に對する三千分の一の地圖は、山間部の方で少し残つてゐる。測量は現在縣の都市計畫課から二班殖え四班でや全るから、本年度中に大體終る豫定であるが、部完了すると愈々都市計劃案を製作し内務省中央委員會へ諮問し、中央委員會が更に縣の地方委員會へ諮問するので、其の答申に依つて決定する筈で測量が順調に進み面倒な事さへ起らぬ限り本年度中に全部終る豫定である。總豫算も千萬圓以上

五千五百萬圓以内で申告されるらしいが、道路網は十二間道路二本十間半十二本、八間六本、六間八本と云ふ案で大體に於て望海郡六ツ美村から市内美合町に通ずる道路を三角形の底邊とし、岩津町を其の頂點とした、三角形の道路網が出来るらしく、十間半以上の道路は電車の複線を敷き六間以上は人道車道の區別を設ける事になつて居る。要するに十二間道路が中心道路となるらしいが、夫れは現在東西に走らんとしてゐる新國道と、現在南北に延びてゐる殿橋道路が十二間になる筈。

北越方面

面目を一新する

長岡市内自動車道路

内務省では緊縮政策實行の餘波として失業者の洪水を完全に救済する事は社會政策から緊要な事であるが、これが對策とし

て國防上から又産業上からその必要に迫られてゐた全國の重要縣道を改修して完全な自動車道路となすべく目下成案中であるが、これが實施となるあかつきには緊縮で仕事にあぶれてゐた土木請負業者も浮ぶ譯で差當り中越では、縦斷してゐる國道十號線が先づ第一に着手さるゝ筈であるが、長岡市外は兎も角も一步長岡にはいつてからは溝宮原の如き殊に柳原町の如きは交通の要路に當つてゐるだけ自動車は勿論馬車自轉車等の輻輳甚だしく交通事故も多く危険さへともなひ早くから改修を町民から熱望されてゐるからこの部分の局部改修は當局も充分實狀を考慮して施行する筈である。尙市内に於ては自動車道路として認め得るものは、同線路中の關東町や山田横町それに悠久山道路であるが、何れも延長間數短く最も痛快な運轉が出来るといふ。長岡高工から悠久山入口迄千間も五十哩の速力を出し得るが直にストツプとなるので、自動

車の發達したといはる、中越も、此の如く道路に恵まれぬ事は獨り運轉手の嘆きのみならず長岡としても面目ないといつてある

木津の通學道路

新潟縣小千谷町木津の通學道路は、豫算四千五百圓及地元木津から人夫が百人の寄附を以て開鑿することとし、設計書も作成され去月十二日役場當局及土木委員が實地踏査をなして大體方針は確立した。木津部落内に二説あり而も協定するには困難なる事情にあるので、協議會を開き妥協點を見出すべく審議する筈であるが、木津部落内が不一致の場合、或は延期となる結果を齎らすやも圖られざる状態である。

研究中の道路問題

各地の狀況に照して對策中

政府の緊縮政策に伴ひ新潟縣下に於ける道路問題を如何にすべきかは、目下縣當局

に於て之が對策を考究中であつて、未だ具體案を得るに至らないが、全體を通して大削減又は大變更を免れない様子である。そして之が按配は地方の事情に依つて大に相違があるものと見られてをり、古志郡栃尾町の如く先年大災害により巨額の補助金を交付した地方の如きは真先に之が影響を蒙る形勢で、同郷内に於ける四線は何れも既定計畫を全然中止せらるゝか、然らざれば他地方よりも大なる削減を施す等、各地に亘つて目下それ／＼事情を調査し不日之が對策を決する都合である。

近畿方面

綾部橋架換工事概要

府縣道綾部舞鶴線京都府何鹿郡綾部町地内由良川に架する綾部橋は、綾部町と府下唯一の良港地舞鶴町とを聯絡する要路に在する重要な橋梁にして、舊橋は明治四

十年の洪水にて、流失したるに依り、翌年長百二十間幅十二尺の木鐵混合ボーストリングトラスを架設せしものなるが、橋齡既に盡き交通危險の狀態となりしを以て之が架換の計畫を擲て、府會の協賛を經昭和三年八月起工翌四年四月竣功せしものなり
本橋は全長百十五間四分全幅員十六尺有効幅員十五尺川底上橋面迄の高二十五尺にして大體鐵材より成り道路構造令規程の耐荷力を有するものとす
各部の構造は概要左の通り

- 一 體橋
- イ 體型 ボーストリング型 (徑間九十六尺五寸にて七連)
- ロ 橋床 鐵筋混凝土 (厚五寸)
- ハ 橋面 グラフノリシツク鋪裝 (厚二吋)
- ニ 反り 各トラスのキャンバー三吋、橋全體のキャンバー、中央二尺の拋物線、横斷勾配中央二吋の弧形
- 一 高欄

瓦斯パイプ、アングル及平鐵等にて組立て親柱は花崗石質切石にして親柱と中間の柱には點燈裝置をなす

一 橋臺

左右兩岸橋臺共半重力式鐵筋混凝土造にて最切栗石基礎の設計なりしが實施に當り左岸橋臺は現在地盤より十一尺の根入れに達せしも地質粘土質にて堅牢なる地盤露出せざりし爲抗打工事を施行せり、右岸橋臺は地質至つて堅固にて殆んど岩盤同様の地盤露出したるを以て極めて順調に施行したり

一 橋脚

橋脚も橋臺と同じく鐵筋混凝土造とし基礎は全部橢圓形「ウエル」(縦内徑二十四尺三寸外徑二十七尺横内徑七尺二寸外徑九尺九寸高二十五尺)を沈下し最低根入河底下十八尺にて軟岩又は凝結砂利層に達せしめ、安全なる支持力を保持せしむ「ウエル」沈下の荷重臺の上に二臺の淺濠

器を用ひ最終沈下の際は約四萬五千貫の土砂を積上ぐ、沈下の最も容易なりしは沈下當初の二尺五寸(一日工程)にして最も困難なりしは十日間全く無沈下のものにて一日平均沈下約五寸(夜間作業を含む)なり

一 取合道路

本橋は由良川最大洪水位を考慮し在來より約八尺高くせしと河の流身に直角ならしむる爲め橋臺位置を移動し從て取合道路築造を要す兩詰道路總延長百二十三間を幅員三間に改築す

一 工事費

橋臺費 六千二百七十一圓
橋脚費 二萬五千八百十二圓
橋體費 六萬三千六百圓
高欄費 四千六百三十三圓
取合道路費 七千二百六十五圓
計 十萬七千百一十一圓
潰地買收物件移轉其他諸雜費

合 計 一萬九千九百三十二圓
十一萬九千四十三圓
(面積當四一二圓)

(豫算十一萬九千二百十八圓)

一 主要材料

鐵材 二百九十五噸
セメント 二千六百十六樽
砂 利 二百〇八立坪
砂 九十二立坪

神明新國道ハスの陣容

神戸湊川から明石驛前まで神明新國道を走る宇治電傍系の乗合自動車は政變の危い處で許可され浮び上つた。その後會社成立の準備は着々と進み神明自動車株式會社は茲に實現して愈々營業準備に入つたが、差當り湊川附近垂水、明石の三ヶ所に車庫營業所を設置し、來る十一月頃から乗合自動車を動かすやうになる筈であるが、使用車輪に就いては神明國道と現在宇治電との併

行線において道幅が著しく狭められてゐる箇所があり、交通量の關係から見ても當局では精々八人乗り位を限度とする意嚮らしいので、この點を接衝してホデーは川崎車輛會社に註文して優秀なるものを運轉し、須磨垂水、舞子など天下の景勝地を走る理想的のバスとして、經營する計劃であると。

道路整理で浮び上る

十二萬圓の新財源

神戸市土木課では經費六萬圓を投じ、昭和二年より四年度に亘る三ヶ年の繼續事業として道路法による完全な道路臺帳を作成することとなり爾來一日平均工夫七名、市吏員十名が汗と膏にまみれながら全市總延長約二十八萬餘間面積約八十五萬餘坪に達する全市の道路の實測に従事してゐたが、昨今に至つて大體の調査を終つた、その結果市の道路に對する管理が必ずしも從來行き届かなかつた爲のみでもあるまいが、市

の道路を勝手に使つて居るもの、甚だしいのは市の公道を取込んだ上に營造物を設けてあるのすら澤山發見した。それに對しては市の公道として是非存續せねばならぬものは、容赦なく營造物を建てた向に取除けを命し、或は邸内に取り込んで塞いであるものには明渡しを命し、それぞれ埒を明けであるが、市に於て廢道として處分して差支へないもの或は拂下げて支障のない土地に適當な料金で以て拂下げてある、併し拂下げに就ては値段の點に於て交渉に手間取れるのもあり、假りに折合がついても市會の承認を経ねばならず、その上四ヶ月間の猶豫期間を要するから、全部の整理までには相當の骨が折れる見込みである。

道はせむらぎに沿ふて

山々て試みられる循還道路

神戸市の都市計劃部に表れた山地に對す

る通路及び軌道計畫を見れば、これらの系統は地勢上、河川溪に沿ひ奥地に入るを最も便利とされてゐるが、いまこれを西から擧げると、鐵拐山系循還道路がある、即ち須磨板宿から妙法寺川に沿ひ、現在縣道を改修して奥妙法寺に至り左に道をとつて横尾山背後の高臺を通過、多井畑に出で、既成多井畑街路と連絡し、さらに谷川に沿ひ下畑を経て鹽屋にいたり國道に連絡、本道に沿ひ一部兼用の電車軌道を敷設し、福員七米、横尾山背後から多井畑、下畑を経て鹽屋に至る沿道は住宅地として開發するに將來有望なところが多い。次に白川街道の改修道路奥妙法寺から現在縣道の市郡界まで自動車道路を設んとするもので、この幅員七米、妙法寺白川高地循還道路——奥妙法寺にて縣道から岐れ、現在の里道を改修し落合地に出で、白川峠に上り縣道に出して白川にいたり合奥地藏松（現在はない）て苅藻川の溪流に沿つて長田に至る。一部

分は土地區劃整理組合にて完成せる道路を利用する、この幅員五・五米、軌道は板宿から延長せるものを木體本道に沿ひ、白川まで延長する、妙法寺から分岐して高取山背後の高地を巡り長田にいたるものを敷設する循還道路で、高臺になつたところは地勢開發に最適の地、公園、住宅、墓地、ゴルフ場その他各種運動競技場等の設置に適當なる所多く、市民の對象として、將來大きな希望がつけられてゐる。

鴨越街道の改修——現在の鴨越道を改修し、市内との連絡を改善せんとするものである、この幅員五・五米、次ぎに烏原谷、天王谷、再度谷を打つて一丸とした循還道路計劃があるが、これは夢野から烏原谷に出て川に沿ふて上り小部附近から水呑に至り縣道有馬道に合す、さらに二軒茶屋から鹽ヶ原に出て再度山參詣道を改修して市内に至る大規模のものである、幅員五・五米、本線路沿道を見るに市部に屬する山岳は、殆ど急坂

といつてもいゝが、郡部に屬する部分にいたつては、緩斜の場所多く、各種の開發計劃に便である。烏原谷には神有電鐵の線路もあり、再度山並に鹽ヶ原には再度山登山電鐵の特許線もあるから、一層開發促進の機運をかましたものと見られてゐる。

中國方面

八間を最少限度に決定

廣島縣賀茂郡竹原町驛前産業道路計劃委員會は、町會議場に於て開催森川委員長から町としての具體案として最近調査させた三方式道路計劃、所謂ステーション廣場番前から北方直線に三十三番濱と三十二番濱を横斷し、なほ江戸場川を經て一番濱、二濱の從來通りにしてゐる境界道沿ひ、新路に町大手に達し西は三津町、東は本郷町に通ずる縣道に連續する二百七十間の延長にして、幅員地下五間へ十一尺ぐらひ盛土、

この道路面三間幅、これが計劃豫算一萬二千圓、なほ兩面石垣にて積上ぐれば二萬三千七百五十圓であると説明し、現在町に道路改修費として昭和三年度まで二萬二千圓及今年度四千圓ほど積立てるので、利息とも二萬七千圓の積立金があるとのことで遂行上非常に都合よくその他驛構内に沿ふて東西に道路を延長する計劃である。これにて東西北方と三方式道路であるとのことであるが驛構内に沿ふて道路を設けることは鐵道省が絶対にこれを許さず、今のところ東西の道路は町として具體的計劃をたてることは不可能なるため同日は北方直線二百七十間道路のみを諮問に附した。これに對し經費の關係上やゝもすれば幅員地下五間盛土路面三間道路に賛成者が多いので、日頃町民の輿論を聞いてゐた山野議員は十二間の幅員道路を主張したが、少くも八間の路面でなくてはと頻りにその必要を述ぶるや最初これを冷笑してゐた他の委員連、今治

市及吳市その他都市の驛前道路の幅員を聞
くや、廣くて八間と思ひのほか、いづれ
も十二間道路と木村助役が答へたので今
さらそのせまく見えるに驚き、結局八間
を最小限度とする説に話がまとまり、い
よ／＼地主に交渉を進めることとなつた

青年團の道路修理

廣島縣世羅郡小國村青年團では、去月
三日午前七時團員六十餘名小學校に集合
友定清水副團長の指揮で小國河内停車場
線縣道大修理を行ふた。當日は九十餘度
の暑さにもかゝらず團員一同熱心に作
業し村民から非常に感謝されてゐる。

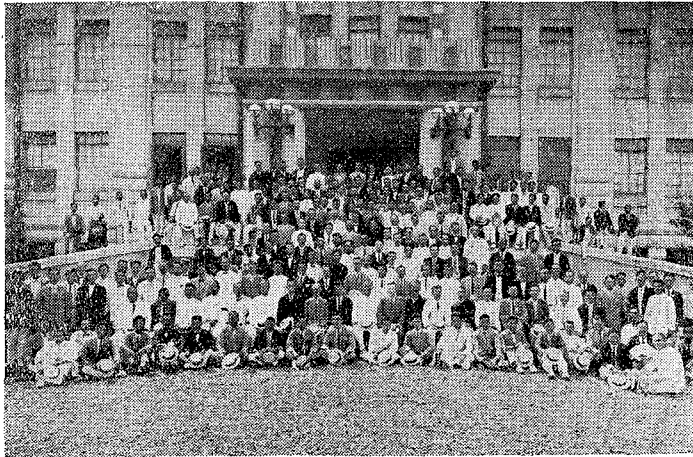
九州方面

混凝土講習會終る

第十一卷第七號地方通信欄にて紹介し
た九州、山口、沖繩各縣土木課主催日本ホ

地方通信

ルトランドセメント同業會後援の混凝土講



習會は七月十七日から三日間豫定の通り九

大工學部に於て開催、當日の會員は既報二

百六名より會期切迫と共に急増し三百
有餘名に達し未會有の大盛況を呈した
第一日

午前八時坂本福岡縣土木課長の挨拶
あり「最近の混凝土施工法に就て」と題
し九大工學部教授吉田徳次郎博士「混
凝土の調合に就て」と題し熊本高工教
授吉田彌七氏各二時間に亘る講義あり
午後左記實驗見學をなす

- 一 混凝土の篩分試驗
- 二 混凝土の應壓供試體の製作
- 三 混凝土の應壓強度試驗
- 四 混凝土の附着力及び磨滅試驗
- 五 混凝土の單位容積の重量測定
- 六 混凝土のウオーカビリティー測
定

イ スランプテスト

ロ フローテアルテスト

ハ ドロップテスト

第二日

「光弾性學概論」に就きて九大工學部助教
授久野重一郎氏、「鐵筋混凝土の設計上注意
すべき事項」と題し熊本高工教授徳弘春美
氏各二時間の講述午後左の實驗見學をなす

一 鐵筋混凝土桁耐力試驗

二 光弾性學實驗

第三日

「最近のセメントの進歩と化學成分に就
て」と題し九大工學部教授張支彦氏、「セメン
トの使用法に就て」と題し小野田セメント
會社專務取締役狩野宗三氏の各二時間に亘
る講演あり、午後混凝土に關する質問及討
議をなし、三時閉會一同記念攝影をなし、
午後五時から福岡佛教青年會館にて講師慰
勞を兼ね大懇親宴會を開き、盛會裡に同七
時散會せり。今回の講習は非常に有意義に
終始したるものにて、之を以て混凝土工事
に對し幾多の注意を喚起し、設計上施工上
斯界向上進歩に資する處尠からず、所期の

目的を十二分に達したり。

門司松ヶ江間重要路

鹿喰峠の隧道工事

門司市大里町から企救郡松ヶ枝村に至る
主要道路大里浦中線の鹿喰峠は急勾配であ
るため豫てから隧道掘鑿の問題があり、目
下測量中に屬してゐるが、縣に於ても例の
緊縮方針により工事が危まれると云ふので
柴崎松ヶ枝村長は去月三日朝門司市役所に
馬場市長を訪問協議したが、近く門司市當
局並に松ヶ枝村當局者が出福し、縣當局に
工事の促進要望を爲す筈であるが、該線は
縣道で工事實施となれば工事費の一部は關
係地元で負擔の事となる。

道路維持の爲道路費

増額は認めて貰ひ度い

福岡縣土木課では比年激増する自動車に

よつて破損さるゝ國縣道の修繕費に追はれ
豫算の不足を償ふべき方法を考究中であつ
たが、何等良案が無い爲め明年度豫算に於
て已を得ず之が増額を企圖する事となつた
に就て坂本土木課長は語る。

自動車數は大正八年の九十臺が昭和四年
に至つて二千四百臺となつたに對し國縣道
一里當り修繕費の三百圓が大正十、十一、
十二年には千圓となり、それから逆に漸減
して昭和三四年には四百五十圓となり自動
車數に逆比するの奇觀を呈して居る。福岡
縣は全國府縣中自動車數に於て第六位に在
るに拘はらず道路修繕費に於て二十六位に
あり此儘放任すれば折角産業開發の爲に開
通した道路網も荒廢に歸して其の意義を失
ふ結果となるから如何に緊縮方針の時代で
あるとしても此の増額だけは認めて貰ひた
いものである。